

一、籠賄之儀、十人組或品により諸親類・主人に可申付事。
 并籠番人給銀百二拾目被下候條、郡打銀之内を以、會所にて
 斷請取可相渡事。

右被仰出之通、無相違可有裁許者也。

子六月十六日 御印

前田 對馬

今枝 民部

奥村 因幡

七尾町奉行

二 七尾町奉行裁許條々覺

能州七尾・府中兩町地子町共、御奉行就被仰
 付、可有裁許覺。

- 一、兩所町夫之事。
- 一、小物成取立之事。
- 一、中居・輪嶋・宇出津三ヶ所町夫、郡奉行以相談可有支配事。
- 一、小拂銀請拂之事。
- 一、小代官之事。

一、切死丹宗門御改に付御預け者之事。

一、四郡御普請道具之事。

一、四郡在々より他國に商に相越候もの船出切手之事。

一、四郡船持共船之大小何人乗と申儀、毎年逢吟味船札可
 出之事。

一、御詰米、御算用場受指圖可有裁許事。

一、御詰塩請拂之事。

附り、諸方廻塩運賃請拂之事。

一、七尾御圍村木、并輪嶋御拂殘御材木請拂、下奉行渡邊
 宗左衛門・早川七左衛門申付、諸事指引之事。

一、輪嶋に有之御道具、中居に有之いぎりす筒被預置候間、
 手置等專要に可被申付事。

一、四郡在々より他國に相越候男之分、境通切手之事。

附、金澤近所之百姓は、勝手次第郡奉行以手形相越候様
 可被申付事。

一、七尾・府中・地子町共に女伊勢參宮、并京都本願寺參詣、
 大正持通切手請合等之儀、被遂穿鑿切手可被出事。

一、所々橋其外御普請有之刻、古道具・餘道具當座に賣拂

儀於難成者、手先之奉行より請取置、追而以入札拂可被申
 事。

一、公儀御米船・他國諸大名衆荷船、并御國より大坂渡海之
 米船破損之節、口郡内浦之出船奉行相談、御算用場受指圖
 可有裁許事。

一、四郡之肴・素麵・海苔等其時分被申付置、江戸并金澤に
 送を相添可遣候。代銀者小拂、代米は御算用場にて斷之、請
 取可被渡事。

一、上坂村助、巢鷹おろしに相越候年は、下行米五石請取
 之、可被相渡事。

右條數無油斷可有裁許者也。

延寶四年九月 日

横山 左衛門

奥村 因幡

前田 對馬

本多 安房

山崎半左衛門殿

三 宮腰町奉行裁許之儀御定

覺

一、宮腰町奉行被仰付候間、萬端金澤町御仕置之格を以、
 可被申付事。

一、宮腰浦之儀は不及申、諸浦より爲御用所々に被遣候船、
 善惡吟味、無滯可被裁許事。

一、能美・石川・河北浦より高松浦迄船切手、并便船人等吟
 味いたし、切手遣可被申候。但、安宅浦は小松町奉行、本
 吉浦は其所之奉行、便船人之切手可出之事。

一、内潟船御用之節、無滯様可被申付事。

一、御材木・石其外何によらず御荷物積船、宮腰浦着岸之
 分、早速御荷物請取、先々御奉行に相渡、埒明候様可被裁
 許候。此跡御荷物受取渡滯、船頭致迷惑之由に候間、爲被
 入念事。

一、御荷物等宮腰浦着岸之分は、主計・三右衛門其外肝煎共
 に申付、帳面に記置、切々改、無滯様に運賃可被相渡候。
 若諸奉行人手前に而滯候者、早速可被申聞事。